

顕彰名称 / 顕彰先 / 顕彰理由	カテゴリー	写真
秋葉原（秋葉原駅周辺の電気街） 秋葉原電気街振興会（東京都千代田区） 戦後の混乱期から家電販売の集積地として発展。また、真空管やラジオ部品等の電子部品も電気を学ぶ学生やマニアの為に提供。時代の推移と共にその取扱う製品は変わってきているものの、今日では「世界の秋葉原電気街」と呼ばれるまでに、電気技術発展に大きな貢献を果たしている。	場所	
インバータエアコン 東芝キャリア（株） 世界初のインバータエアコンを開発・製品化し、今日のインバータエアコンの基礎を築いた。家庭用電気機器の中でも消費電力の大きかったエアコンを、省電力・省エネ運転することで、地球環境問題にも大きな貢献を果たしている。	モノ	
ガス絶縁開閉装置 三菱電機（株）、（株）東芝、（株）日立製作所 信頼性・安全性・耐環境性（塩害、騒音、震動など）を格段に向上させた、日本固有の立地条件にマッチしたコンパクト形電力用ガス絶縁開閉装置の開発・製品化。停電が減り、電気供給の安定化、信頼性向上に貢献している。	モノ	
電力系統安定化技術 東京電力（株）、中部電力（株）、関西電力（株）、九州電力（株） 停電事故を最小限にとどめ、安定・安全な生活が営める様にした電力系統技術。停電が減り、電気供給の安定化、信頼性向上に貢献している。	こと	
交流電化発祥の地（作並駅および仙山線仙台～作並間） 東日本旅客鉄道（株）仙台支社 鉄道車両に交流電気を供給する運転方式の実地試験を日本で初めて行い、最初の営業運転を開始した交流電化発祥の地。後の東海道新幹線の交流電化技術として発展するに至る基礎を築いた。	場所	
志田林三郎と多久市先覚者資料館 多久市先覚者資料館 電気学会の創設者で、120年前の第1回総会にて唱えた電気工学の未来技術は20世紀に次々と実現し、その先見性は高く評価されている。資料館はこれらの功績を収集・展示し、地域社会と一体となり文化活動の一端を担っている。	人/場所	
日本語ワードプロセッサ （株）東芝 かな漢字自動変換方式を採用した世界初の日本語ワードプロセッサを開発・商品化。開発された技術は現在のパソコン、携帯電話など、あらゆるIT分野の技術として引き継がれ発展を続けている。	モノ	
藤岡市助と岩国学校教育資料館 岩国学校教育資料館 明治の黎明期に国産化技術の確立に奔走した日本の電機産業創設者の第一人者で、教育界および産業界に多くの足跡を残している。資料館はこれらの功績を収集・展示し、地域社会と一体となり文化活動の一端を担っている。	人/場所	
座席予約システム：マルス1/みどりの窓口の先がけ （財）東日本鉄道文化財団 鉄道博物館 日本のコンピュータ黎明期のオンラインリアルタイムシステムの代表で、みどりの窓口として国民に親しまれている列車の座席予約システム。交通分野における国内初の装置で、発券の迅速化、確度向上に貢献した。	モノ	
500kV系送電の実運用 東京電力（株）、関西電力（株） 急増する電力需要、遠隔地から高密度大消費地までの電力輸送を可能にするため、電力技術を結集して基幹系統の強化を図り、500kV電圧での実運用に初めて取り組み、電力の安定供給に大きく貢献している。	こと/モノ	

*この原稿のデジタル版・写真は <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/35-foundation/> に掲載しています。